

# 奥羽大学報



滝のある池から第3講義棟を臨む

## 目次

|   |    |
|---|----|
| 奥羽大学の理念・目的/ヨーロッパ矯正歯科学会での研究発表                            | 2  |
| IADR 総会・学術大会参加報告/SCRIP で研究成果を発表                         | 3  |
| 欧州糖尿病学会年次学術集会/慶熙大学との学術国際交流                              | 4  |
| 歯学部学生の著作権セミナー/歯学部父兄会地域会/<br>歯学部保護者懇談会/真島いつみ助教が研究推進の会で発表 | 5  |
| 全日本歯科学生総合体育大会/学長杯球技大会/<br>交通安全講習会/避難訓練                  | 6  |
| 薬学部FD研修会/2019年度薬学部教員研究報告会/薬学部就職先一覧                      | 7  |
| 薬学部1年生の病院および薬局訪問/奥羽大 now                                | 8  |
| 福島県医療福祉関連教育施設協議会県中地区研修会/<br>薬物乱用防止啓発活動への参加/薬学部保護者懇談会    | 9  |
| 東北地区私立大学就職問題協議会/オハイオ州立大での講義および<br>実習指導                  | 10 |
| オープンキャンパス/中学校の上級学校訪問・職場体験学習                             | 11 |
| 小・中学生のための歯科医師・薬剤師体験講座/第28回公開講座/<br>地域医療体験セミナー           | 12 |
| 大学院研究経過発表会/海外教員による大学院特別セミナー/<br>無垢サロン                   | 13 |
| 2020年度 奥羽大学 歯学部・薬学部 編入学試験概要                             | 14 |
| 附属病院  | 15 |
| キャンパスの風景  | 16 |
| 歯学部研究紹介   | 17 |
| 薬学部研究紹介   | 18 |
| 自著を語る/「ようこそ郡山へ!」コーナー設置                                  | 19 |
| 同窓生だより/同窓生のひろば  | 20 |
| 人事  | 21 |
| 2020年度 入試日程   | 22 |

## 奥羽大学の理念・目的

## 理念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

## 目的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部はその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

## ヨーロッパ矯正歯科学会での研究発表

6月17日(月)から22日(土)にフランスのニースで開催された95th European Orthodontic Society Congress : ヨーロッパ矯正歯科学会（以下、EOS）に我々の研究発表とヨーロッパにおける矯正歯科治療の研鑽を目的に双石博之先生と根津允先生と共に参加した。

南仏の代表都市であるニースは美しい地中海コート・ダジュール（紺碧の海岸）に面する世界的に有名な観光都市で「リヴィエラの女王」とも呼ばれる世界的にも有名なりゾート地である。ニースは、1年を通じて温暖な気候で日照時間が長く19時になっても明るく、その名の通り美しい海岸線と青い地中海、カラフルな旧市街の街並みの絶景を望むことができた。

今回、我々はScientific Postersとして「Relationship between Maximum Tongue Pressure and Tongue Pressure During Swallowing and Evaluation of Perioral Muscle Pressure in Children」の研究発表をした。本研究は、Impact factor : 2.341であるJournal of Oral Rehabilitation 45(9), 2018にアクセプトされた研究結果を更にアップデートさせたものである。学術ポスター展示会場では海外の先生にお声をかけていただき、お互いの研究結果についてディスカッションし、国際交流を深めることができた。大会長のOlivier Sorel先生は「本大会は、研究の最先端にある基調講演者だけでなく、膨大な数の抄録から厳密かつ公平に選択された発表によって開催され、今年のEOSは最高の科学的レベルの質で情報を提供する」と述べられていた。

おわりに今回、一期治療での機能的顎矯正治療、そして二期治療でのデジタル技術を応用した舌側矯正治療、これから更に盛んになるアライナー矯正治療の臨床・研究が進んでいることを認識でき、とても有意義な学会参加であった。ちょうどよいタイミングでFIFA女子ワールドカップフランス2019が開催されており、なでしこジャパンを現地で応援できたこともサッカー部顧問である私には良い経験となった。また、舌側矯正治療について当科でも導入しているリングスストレートワイヤー法におけるデジタル技術の有用性に関する講演があり、質疑応答も活発に行われていた。改めて、ヨーロッパにおける審美的な矯正治療のニーズの高さを認識した。研究発表自体、大学人によるデジタル技術を駆使した舌側矯正治療の発表が目立ち、日本との違いに大いに刺激を受けた。すでに多様化している新しい矯正治療技術に柔軟に対応する必要性があり、今後も臨床のエビデンスを構築する研究を行い、また本学からの海外論文のアクセプトを目指して臨床および研究の指導を継続していく所存である。

（歯学部成長発育歯学講座歯科矯正学分野  
講師 竜 立雄）



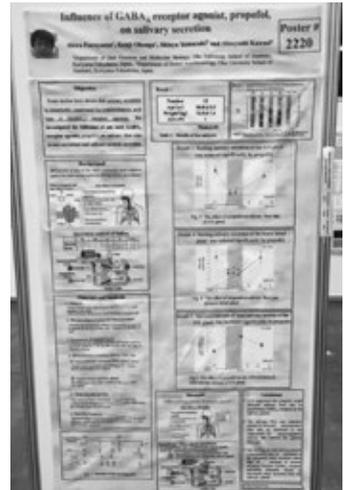
左側が竜立雄講師

## IADR総会・学術大会参加報告

6月19日(水)から22日(土)まで、カナダのバンクーバーで開催された第97回IADR(国際歯科研究学会)に参加してきました。このIADRは、毎年、演題数が4000近くも集まる学会で、歯科界では最も大きい学会といわれています。今回は、静脈麻酔薬と唾液腺に関する基礎系の研究発表を行ってきました。我々の関連分野では、唾液腺の性質から全身状態を把握する研究が各国から口演発表されていました。さらに、同分野のポスター発表では、放射線治療後の唾液腺の委縮に対する研究が行われており、再生医療を応用させようとするものでした。非常に興味を惹かれる内容が多く、自分たちの発表もあったため、3日間、会場で聞き入っていました。

貴重な経験を持つことができました。

(歯学部口腔機能分子生物学講座口腔生理学分野  
教授 川合宏仁)



掲示したポスター

6月19日(水)~22日(土)、カナダのバンクーバーコンベンションセンターで開催された第97回IADR(国際歯科研究学会)に参加しました。演題数3960と盛況な学会でした。私は、「窒素非含有ビスフォスフォネートMPMBPは、TLR2リガンドが誘導する炎症性サイトカインの産生を抑制する(MPMBP down-regulates TLR2-induced proinflammatory cytokine production)」という演題で発表を行いました。MPMBPは、まだ市販されていないビスフォスフォネートです。一般に普及しているビスフォスフォネートの副作用の一つに炎症作用がありますので、興味を持ってくれた先生が数名いらっしゃいました。

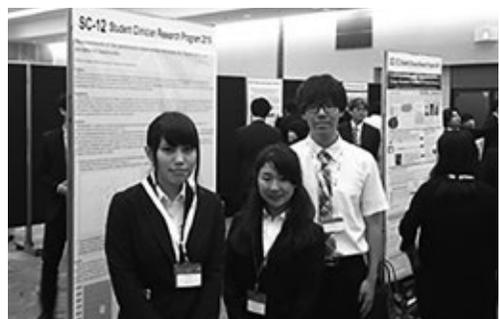
カナダで歯学部がある大学は10校ですが、その中の一つ、プリティッシュコロンビア大学はバンクーバーにあります。構内には、新渡戸稲造記念庭園があり、海外にある日本庭園の5指に入ります。意外ですが、バンクーバーは冬でも平均気温は零下になりません。人は親切で、住みやすそうな印象を受けました。

(歯学部口腔病態解析制御学講座 准教授 玉井利代子)

## SCRPで研究成果を発表

SCRP(スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム)は歯科学学生による研究の実践発表の場として毎年開催されている。今年も8月22日(水)・23日(金)の2日間、歯科医師会館(東京都)において開催され、全国国公立歯科大学・歯学部から25演題が発表された。この大会は、世界大会の日本予選を兼ねているため、発表や質疑応答は全て英語で行われる。また、発表とともに厳正な審査が行われ、審査中は指導教員も共同演者も会場には入れない。

本学からは、歯学部第3学年の伊澤輝さんが「Measurement of the Positional Relationship between the Buccal Nerve and Peripheral Landmarks(頬神経と周囲ランドマークとの位置関係の計測)」と題して発表した。



左から2人目が発表した伊澤輝さん

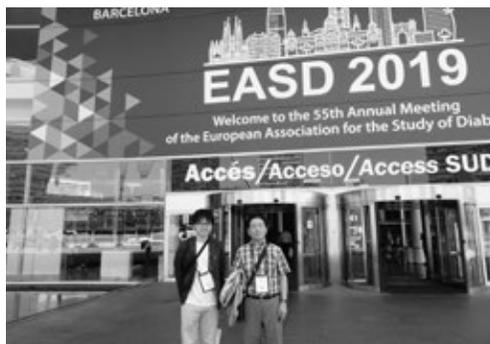
### 欧州糖尿病学会年次学術集会

9月16日(月)から20日(金)にスペイン・バルセロナで開催された第55回欧州糖尿病学会年次学術集会(55th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes: EASD)にて、私と衛藤雅昭薬学部長、齊藤美恵子客員教授の3名でポスター発表してきました。「糖尿病合併症の広がり」というセッションで、演題名は和訳すると「糖尿病における高中性脂肪血症と骨減少症：ヒト骨芽細胞に対する中性脂肪-richリポ蛋白の有害作用とフィブラート薬の改善作用」です。現在、糖尿病の合併症として骨粗しょう症が注目されています。我々の研究室では、高中性脂肪血症を有している糖尿病患者は、より骨粗しょう症を起こしやすいことを見出して発表してきました。今回、中性脂肪-richリポ蛋白が直接に骨芽細胞に作用して骨減少を惹起すること、そして高中性脂肪血症治療薬であるフィブラートが直接に骨芽細胞に作用して、それを改善させることを報告しました。高中性脂肪血症治療薬であるフィブラートが骨粗しょう症を改善・抑制する可能性があることをはじめて明らかにし、注目されました。国際学会への参加は今回が初めてであり、英語で発表して意見交換できたことは大変貴重な経験になりました。また、本学会は最先端の糖尿病研究の成果が発表される場であり、その熱気に大いに刺激を受けました。若い研究者が海外に出向いて研究成果を発表することは大変重要だと実感しました。

バルセロナはスペインの北東、地中海沿岸に位置し、建築家アントニ・ガウディの残した建築物や有名な画家の美術館が多く存在します。巨大で今なお建築中のサグラダ・ファミリアやカサ・バトリヨを見学し、ガウディ建築の素晴らしいデザインに感動しました。また、画家パブロ・ピカソの絵を展示しているピカソ美術館では、ピカソの少年期から晩年までを時代ごとに鑑賞することができました。建築物や美術のほか、パエリアやイベリコ豚、チョコレートなど美味しいものが豊富なバルセロナはとても魅力的でした。

本研究は、卒業研究の一環(薬学部6年小野寺美月)です。

(薬学部 助教 熊谷文哉)



左：熊谷文哉助教、右：衛藤雅昭薬学部長

### 慶熙大学との学術国際交流

韓国の慶熙大学歯学部と本学歯学部とは1975年に姉妹校関係を結んで以来、毎年交流を続けている。すでに40年以上にわたる。

本年度は7月16日(火)～19日(金)の4日間、慶熙大学歯学部から1名の教授と2名の4年生学生が本学歯学部を来訪し、本学歯学部教員による講義や臨床見学、新撰組の歴史が残る会津若松市での観光等を行った。

今回来学された慶熙大学歯学部のJae-Beum Bang教授は、慶熙大学歯学部内の教育システムやカリキュラムの改善・構築に力を注いでおり、主に教育中心に活躍されている。学生たちは、Jae-Beum Bang教授が改善・構築した教育システムを初めて受けた方たちだ。

今後、慶熙大学歯学部と国際交流を通じながら、ともに臨床・教育の面で改善・構築を繰り返し、発展し続けることを強く願う。



### 歯学部学生の著作権セミナー

8月30日(金)、第2講義棟第1講義室にて歯学部学生を対象に、三浦法律事務所の池村聡弁護士を講師に招き著作権に関するセミナーが開かれた。題目は「大学生が知らなきゃまずい著作権～やっていいこと悪いこと～」。「著作権」とはどのような権利であり、なぜ保護されるのか、どういった行為により権利侵害することになるのかを、具体的な事例を踏まえての説明があった。情報端末の進化で簡単に情報やコンテンツを不特定多数の他人に公開・提供できるようになったこと、そしてその容易な行いにより権利者に多大なる被害を与えてしまうことなどの講演内容に、学生たちは終始耳を傾けていた。



### 歯学部父兄会地域会

6月23日(日)、東京都の大森東急REIホテルで、7月7日(日)には大阪府の大阪ガーデンパレスで令和元年度歯学部父兄会地域会を開催した。

両会場とも全体懇談会では、5月に開催された父兄会定時総会の報告や学生生活に関する現況報告が行われた。個別面談については、学年主任と保護者が学習指導や学校生活について活発に意見交換があり、有意義な時間となった。また昼食懇親会では、各学年が和やかな雰囲気の中、情報交換が行われた。



### 歯学部保護者懇談会

10月12日(土)、学生食堂ハーモニーと中央棟で歯学部保護者懇談会が開催された。

台風19号接近中の開催となり欠席の連絡が多くあったものの、最終的に個別面談には46組の保護者が参加した。面談においては、学年主任・クラス担任から成績や学習における進捗状況が報告され、特に第6学年に対しては、卒業試験や国家試験へ向けた学習、第4学年に対してはCBTやOSCEへの対策などの説明が熱心に行われた。



### 眞島いづみ助教が研究推進の会で発表

第35回「歯科医学を中心とした総合的研究を推進する集い」が8月28日(水)、東京九段の歯科医師会館で開催された。日本歯科医学会の主催により、歯科医学研究が臨学産協同によって発展することを目的として毎年行われている。本年も全国29歯学部から選ばれた8演題の発表があった。口腔感染免疫学分野の眞島いづみ助教の「超高齢社会に根差した新規う蝕予防法の開発—遺伝子編集プロバイオティクスの応用化を目指して—」と題する研究もその中に選ばれ、発表を行った。発表後はフロアーからの質問に答える形で、今後の臨床応用をいかに進めるかを中心に活発な討議があった。

## 全日本歯科学生総合体育大会

全日本歯科学生総合体育大会の第51回大会は福岡歯科大学の総合主管で行われた。本学から冬期大会ではラグビーフットボール、スキー、夏期大会では準硬式野球、硬式庭球、バスケットボール、柔道、空手道、アーチェリー、陸上競技、フットサルの計10部門に出場し、2部門で入賞した。準硬式野球部門では5試合中3勝し17校中7位に入賞、硬式庭球部門では男子総合、女子総合で好成績をおさめ、総合で28校中9位に入賞した。入賞の2部門以外でも各クラブで善戦することができたのは、日々練習に励んだ参加学生達の努力に加え、周囲の多大なる協力があってこそである。次期大会での更なる活躍を期待したい。



## 学長杯球技大会

10月5日(土)、学友会主催による第25回奥羽大学学長杯球技大会が本学体育館で開催された。今年度はフットサル、ドッジボールの2種目が行われた。多くの学生が参加し、活気あふれる大会であった。

学部や学年の垣根を超えたコミュニケーションがとられ、良い雰囲気の中で大会を終了することができた。



## 交通安全講習会

7月9日(火)、記念講堂において、全学部生を対象とした令和元年度交通安全講習会を実施した。

第一線の現場に携わる郡山北警察署の交通課係官を講師に招き、自動車運転における周囲のドライバーや歩行者に対する様々な危険性を学んだ。

受講者はあらためて交通安全に対する意識付けを再確認していた。

## 避難訓練

地球規模で自然現象が猛威を振るっている。また、今後30年以内に再び大地震が東北地方を襲う可能性は高いとも伝え聞く。そのような中、本学学生は授業の合間を縫って、避難訓練に真剣に取り組んだ。

歯学部生は8月30日(金)に1～4年生が、先ずシェイクアウトで自身の安全を確保し、その後教室から避難場所までの経路を確認した。薬学部生も、各学年の行事等日程に応じて、学年ごとに8月22日(木)、9月6日(金)、9月30日(月)に、同様の訓練を実施した。

**薬学部FD研修会**

今年度、薬学部では教員の教育及び研究に対する意識を高めることを目標に既に3回のFD研修会を行った。

第1回は7月20日(土)、日本赤十字社石巻赤十字病院薬剤部の佐賀利英部長をお招きし、薬学部5年生の実務実習のカリキュラム内容と、2011年東日本大震災時の日赤石巻病院の対応について講演いただいた。特に、震災後、日赤石巻病院は石巻地区に唯一残された災害拠点病院となったことで、モバイルファーマシーを初めて運営して災害医療に取り組んだことはインパクトある内容だった。

第2回は8月21日(水)、昨年本学全学生に対して行った「学修時間と授業に対するアンケート調査」の集計結果の薬学部部分についてIR推進委員会から詳細報告を聞き、その後5、6名のグループに分かれてアンケートで浮かび上がった事実を今後の教育にどのように活かすかについて討議した。

第3回は10月2日(水)、本学歯学部の車田文雄准教授による職場でのメンタルヘルスケアに関する講演を聴講した。セクハラ、パワハラなどをしない・受けないために日頃からどのような点に注意していけばよいのかなど実用的で有益な知識を得ることができた。

(薬学部 教授 伊藤徳家)

**2019年度 薬学部教員研究報告会**

講演時間：25分、質疑応答：5分

場 所：薬学棟523教室

時 間：16:30～18:30

第1回 7月24日(水) 16:30～19:00

伊藤 徳家教授 井上 忠夫教授

石山 玄明准教授 古泉 博之准教授

第2回 8月28日(水) 16:00～18:30

守屋 孝洋教授 伊藤 鍛教授

関 健二郎准教授 佐藤 亜希子准教授

大原 宏司講師

第3回 9月25日(水) 16:30～18:30

佐久間 勉教授 中川 直人教授

渡邊 哲也講師 櫻井 敏博准教授

第4回 10月23日(水) 16:30～18:30

佐藤 栄作教授 佐藤 研教授

鈴木 康裕准教授 河野 晴一教授

第5回 11月27日(水) 16:30～18:30

西屋 禎教授 木皿 重樹教授

杉野 雅浩講師 高橋 浩子教授

**薬学部就職先一覧(平成31年3月卒)**

**【病院】**

公益財団法人会田病院・いわき市医療センター・一般財団法人太田総合病院・財団法人金森和心会針生ヶ丘病院・国立病院機構・独立行政法人労働者健康安全機構福島労災病院・公立藤田病院・公益財団法人星総合病院・一般財団法人脳神経疾患研究所総合南東北病院

**【薬局】**

アポロメディカルホールディングス株式会社・株アクア(マリン調剤薬局)・株式会社医薬品情報センター・おおてまち薬局・クオール株式会社・クラブ株式会社・株式会社コスモファーマグループ・武田薬局・株式会社トミザワ薬局・日本調剤株式会社・株式会社ノア・阪神調剤ホールディング株式会社・ファーマライズホールディングス株式会社・株式会社福島医療サービス・株式会社ミッテル・株式会社メディカルグリーン・有限会社メディカルイトウ・株式会社ライプリー・株式会社リバーサル・株式会社ワークイン

**【ドラッグストア】**

ウエルシア薬局株式会社・株式会社ウェルパーク・株式会社カワチ薬品・株式会社杏林堂薬局・クリエイトSDホールディングス・株式会社ツルハ・株式会社富士薬品・株式会社マツモトキヨシ

**【その他】**

日本全薬工業株式会社・株式会社ツムラ

### 薬学部1年生の病院および薬局訪問

6月17日(月)、24日(月)の両日、1年次学生早期臨床体験の一環として、郡山市内の病院および薬局訪問を実施した。延べ41施設の薬局と延べ7施設の病院より協力をいただき、日進月歩の医療現場において多様性の増す薬剤師業務の実際に触れる機会を得た。今回の主な目的は、その体験から薬剤師業務の重要性を認識し、将来どのような薬剤師になりたいかを考え、ひいては、これからの勉学へのモチベーションを向上させることにある。学生たちは、これから6年間の薬学教育への意欲もいよいよ高まったようだ。



### 奥羽大now

### 海外薬学実習および成果報告会

9月1日～15日の約2週間、米国フロリダ州にある Nova Southeastern University (NSU) College of Pharmacyにおいて、海外薬学実習を実施した。5年生9名が参加した。その概要などを報告する。

この海外薬学実習は薬学部5年生の選択科目である。5年次に実施される実務実習(薬局実習および病院実習)を終えて日本の薬剤師業務を一通り経験したところで、この海外薬学実習を開講した。渡航前に、各自の目標を明確にするためにスモールグループディスカッションを行った。渡航当初はハリケンドリアンの影響で、第1週の最初の3日間は休講となったが、その後はスケジュールを組みなおして実施した。糖尿病、逆流性食道炎、甲状腺疾患に関する薬物治療学の反転授業を経験することができた。米国の薬学部生は



各々タブレットを所有し、講義資料はそのタブレット上で見て、講義内容のポイントをタッチペンで書き込むスタイルで行われた。試験もタブレットを使用するというので、IT機器の導入が進んでいることが分かった。

施設見学では、NSU pharmacy・MTM (Medication Therapy Management) call center、ICUBA (Independent Colleges and Universities Benefits Association) care、Florida State Hospital (精神科専門病院)を訪問・見学した。NSU pharmacyでは、日本の薬剤師業務では行われていないワルファリンクリニックについて説明を受け、米国の薬剤師業務の先進性を知ることができた。また、MTM call centerやICUBA careでも、日本の薬剤師業務ではあまり行われていない電話による治療や医療保険のケア業務が行われていることを知ることができた。一方で、日本におけるお薬手帳を用いて患者さんの安全を確保するシステムは米国にはなく、日本が誇れるシステムであることも理解できた。

帰国後、10月3日に、海外薬学実習成果報告会を実施した。40名ほどの参加があった。2週間という短期間であったが、実習の参加学生の考え方が成熟していることが十分にわかる報告会であった。今年度の良い点・改善する点を振りかえり、来年度の実習をより有意義なものにしていきたい。

(薬学部医療薬学分野 教授 中川直人)

### 福島県医療福祉関連教育施設協議会県中地区研修会

薬学部1年生と3年生合わせて5名が、一般社団法人福島県医療福祉関連教育施設協議会県中地区研修会(通称ネクストホープ研修会)に参加した。7月13日は郡山女子大学、8月31日と9月1日は太田看護専門学校と太田西ノ内病院を主会場として開催された。研修には、県中・県南地区の医療福祉関連教育施設から約40名の学生が集まり、講義やグループワーク、施設見学などを通じて医療福祉専門職の役割と職能を学び、チーム医療のあり方について意見交換をした。学生同士はすぐ打ち解け合い、楽しく学び、この研修会ならではの貴重な体験を得ていた。



### 薬物乱用防止啓発活動への参加

薬学部では、違法薬物・危険ドラッグ等の乱用防止を目的とした地域の啓発活動に協力している。7月8日(月)には「ダメ。ゼッタイ。」626ヤング街頭キャンペーンが、ザ・モール郡山において行われ、薬学部1年生12名がヤングボランティアとして参加した。8月8日(木)には、福島県ヤング健康推進員に任命されている4年生2名、2年生6名が、郡山市のショッピングモールフェスタでの啓発活動に参加した。



### 薬学部保護者懇談会

8月3日(土)午後、薬学部4年生および6年生の保護者懇談会が郡山ビューホテルにて開催された。4年生24名、6年生32名の保護者が参加した。初めに個別懇談会を行い、保護者と学生配属研究室教員との間で成績や就職に関して真剣な話し合いが持たれた(写真)。次に学年別に分かれ、各学年主任(4年:関健二郎准教授、6年:守屋孝洋教授)より教育の現況説明があり、薬学共用試験(CBT, OSCE)・薬剤師国家試験合格に向けての対策が紹介された。

最後に催された懇親会は、一転して和やかな雰囲気となり、早坂正孝学生部長の司会進行の下、衛藤雅昭薬学部長より学部全体の取り組みについて説明があった。また今年度新任教員の抱負が披露され、他学年主任により当該学年の教育目標が紹介された。こうして学部の一体感がさらに強まった。



### 東北地区私立大学就職問題協議会

6月20日(木)・21日(金)、令和元年度東北地区私立大学就職問題協議会が、本学薬学部を当番校として郡山ビューホテルにて開催された。私立大学の就職担当者と就職情報企業の担当者計53名が一堂に会し、盛大な会となった。初めに衛藤雅昭薬学部長より挨拶があり、奥羽大学薬学部の歴史・就職状況・薬剤師国家試験等も紹介された。協議会総会は事務局の東北学院大学田口課長の進行により行われた。また、ホテルからバスにて移動してアサヒビール本宮工場を参加者全員で見学をした。同ホテルに戻り、本学薬学部の伊藤徳家教授による講演が行われた。演題は、「薬用植物を利用した薬学部の地域貢献の一方策 産官学連携によるカンゾウの国内栽培と産業の六次化」。懇親会では、早坂正孝薬学部就職委員長より乾杯が行われ、和やかな雰囲気の中、情報交換が行われた。

2日目は、就職情報企業担当者より、情報提供が2件あり盛会のうちに終了した。



前列左より、谷代尚人係長、佐藤和義学事部長、  
早坂正孝学生部長、衛藤雅昭学部長

### オハイオ州立大での講義および実習指導

3年前のオハイオ州立大学への留学以降、毎年7月に講義と実習指導を依頼されている。本年も講義と歯科矯正学の模型実習指導を行った。

オハイオ州立大学は、全米でもトップレベルの大学でレジデントは毎年世界中から200名が入局希望している。しかし、1年に5名しか採用されず、とても狭き門となっている。今年も選抜された5名の1年目のレジデントに対して講義と歯科矯正学の模型実習指導を行った。レジデントは、非常に優秀で講義や実習の際には細かいことでも理解しようとして3、4時間に渡り質問攻めに合った。

研究に関しても、CTを用いた顎関節形態に関する研究なども継続しており近日中に研究論文を発表する予定だ。

アメリカの最先端歯科治療やカルチャーを体験し、歯科医師としての視野を広げたいと考えている本学の学生や教員とともに来年度は渡米したいと考えている。

短期留学など考えている学生および教員方は、いつでもご相談ください。

(歯学部成長発育歯学講座 講師 川鍋 仁)



歯科矯正学の講義風景



模型実習指導風景

## オープンキャンパス

7月13日(土)、8月7日(水)、8月8日(木)および9月7日(土)の4回、本学キャンパスにおいて、歯学部・薬学部オープンキャンパスを開催した。

各回とも、歯学部、薬学部に分かれて学部の紹介、入試説明、ミニ講義、キャンパス見学、実習体験が催された。さらに、学食体験と併せて個別進学相談が行われ、本学の進学を希望する参加者から入学試験や学生生活に関する具体的な質疑が交わされ熱心に相談する参加者の姿が見られた。



### ミニ講義・実習体験内容・担当スタッフ

#### ■7月13日(土)

##### ○歯学部

- ・ミニ講義「ステキな歯ならびと笑顔をつくる矯正歯科治療」  
竜立雄 講師
- ・実習体験「歯科矯正学実習体験 ～歯を動かしてみよう!!～」  
竜立雄 講師

##### ○薬学部

- ・ミニ講義「薬理学入門」 佐藤栄作 教授
- ・実習体験「身近な免疫学～唾液から血液型を調べてみよう～」  
堀江均 教授、山下俊之 教授 ほか

#### ■8月7日(水)

##### ○歯学部

- ・ミニ講義「レーザーとは? 歯科治療での応用」  
木村裕一 教授
- ・実習体験「歯をレーザー光で削ってみよう」  
木村裕一 教授 ほか

##### ○薬学部

- ・ミニ講義「からだに入った薬はどうなるの? 物理化学から薬を考えてみよう」小野哲也 講師
- ・実習体験「薬剤師の仕事体験」  
中川直人 教授、木皿重樹 教授、高橋浩子 教授

#### ■8月8日(木)

##### ○歯学部

- ・ミニ講義「コンピューター支援インプラント治療」  
関根秀志 教授
- ・実習体験「コンピューターシミュレーションとインプラント体埋入手術」 関根秀志 教授

##### ○薬学部

- ・ミニ講義「医療現場で活躍する薬剤師」 木皿重樹 教授
- ・実習体験「衛生薬学実習体験～水から探る私たちの環境～」  
佐久間勉 教授、櫻井敏博 准教授、熊本隆之 講師

#### ■9月7日(土)

##### ○歯学部

- ・ミニ講義「全国最高水準の日帰り全身麻酔」  
山崎信也 教授
- ・実習体験「一次救命処置」 山崎信也 教授

##### ○薬学部

- ・ミニ講義「福島県の薬用植物」 伊藤徳家 教授
- ・実習体験「紅茶の科学的解明」 竹元万寿美 教授、  
石山玄明 准教授 ほか

## 中学校の上級学校訪問・職場体験学習

中学校の「総合的な学習の時間」では上級学校訪問または職業体験学習を実施し、生徒一人一人の職業観・人生観を育む取り組みが行われている。

本学では、中学校からの依頼を受け、大学で学ぶことへの関心・意欲を高め、生徒の学習目的が達成できるよう支援している。本年度の受入れは次の通り。



| 開催日      | 学校名          | 人数     |
|----------|--------------|--------|
| 6月26日(水) | 郡山第二中学校      | 3年生 8名 |
| 7月12日(金) | 安積第二中学校      | 3年生11名 |
| 9月4日(水)  | 富岡第一・富岡第二中学校 | 3年生 7名 |
| 9月5日(木)  | 日和田中学校       | 3年生12名 |
| 9月6日(金)  | 郡山第六中学校      | 2年生 9名 |
| 9月18日(水) | 須賀川第二中学校     | 2年生 9名 |

### 小・中学生のための歯科医師・薬剤師体験講座

8月6日(火)、5年生以上の小学生・中学生のための職業体験講座を開催した。主に郡山市内の児童および中学生が集まり、付き添いの保護者と共に構内見学の後、歯科医師コース・薬剤師コースに分かれて実習体験を行なった。

将来は薬剤師になりたいという小学校児童や、歯科医師になるという中学校生徒も参加しており、意識の高さを感じた。本学は、今後も職業体験講座を開設し、小・中学生のキャリア学習をサポートする。



#### 【体験講座内容】

歯科医師コース 「人工歯を削ってむし歯の治療を体験しよう！」

薬剤師コース 「薬剤師の仕事ミニ講座」「注射薬を混ぜる体験をしよう」

### 第28回公開講座

本年度の公開講座は、9月7日(土)から9月28日(土)にかけて4日間8講座が開催された。総合テーマは昨年に引き続き「奥羽大学発健康宣言2019」として、歯学部・薬学部専門分野をわかりやすく解説した。

| 開催日      | 学部  | 講師名      | タイトル                                   |
|----------|-----|----------|--|
| 9月7日(土)  | 歯学部 | 宇佐美晶信 教授 | 人体の内部をみるために                            |
|          |     | 小林美智代 講師 | 微生物と共に健康に生きていく～我々の古い友人達                |
| 9月14日(土) | 歯学部 | 前田豊信 准教授 | 身のまわりの遺伝子組換えとゲノム編集                     |
|          |     | 鈴木史彦 准教授 | 認知症患者と歯科治療                             |
| 9月21日(土) | 薬学部 | 木皿重樹 教授  | がん化学療法を安心して受けるために知っておきたいこと～抗がん薬の副作用対策～ |
|          |     | 小田中啓太 助教 | ワクチンについて～その歴史と今～                       |
| 9月28日(土) | 薬学部 | 櫻井敏博 准教授 | 妊娠・出産の昔と今                              |
|          |     | 金原 淳 講師  | 同じクスリでも成分の形によって効果が違う?～化学の視点から～         |

### 地域医療体験セミナー

8月2日(金)、医療人を志す子どもの夢応援委託事業「後期地域医療体験セミナー」を実施した。

福島県教育委員会の主催。本学の歯科医師および薬剤師の職業体験プログラムに参加した6名の高校1年生は、自分の医療現場での体験に将来への夢を膨らませていた。



## 大学院研究経過発表会

大学院研究経過発表会が8月29日(木)に附属病院棟5階臨床講義室で開催され、学位審査を受ける前年度の大学院生が学位研究の進行状況を発表した。直接の指導教員以外のさまざまな研究分野の大学院教員から助言を得ることができ、学位研究の質的向上に極めて有意義なものとなっている。

14名の大学院生が基礎研究から臨床研究まで広範囲に及ぶ発表を行い、多くの貴重な助言を得ることができた。

## 海外教員による大学院特別セミナー

海外教員による大学院特別セミナーが8月22日(木)に中央棟6階教3で開催された。講師はニューヨーク大学歯学部准教授の岡崎勝至博士で、「米国の歯内療法専門医教育と歯内療法の予知性」と題して、木村裕一教授の司会進行で行われた。最新の再生医学の技術を導入した歯内療法の先端的研究の紹介や米国では歯内療法専門医をいかに育成しているかについて、詳しい説明があった。当日は、臨床系を中心に多くの大学院生や教員が出席した。



## 論理的であることと人間的であること

薬学部 准教授 伊藤 頼位

薬学部3年次の科目「論理学」の初回授業で、次の問いを考えてもらっています。

ハナコが風邪をひいているとき、ヒナコは風邪をひいていません。では、ヒナコが風邪をひいているとき、ハナコは風邪をひいていない、といえるでしょうか？

9割以上の学生が「そんなことはいえない」と答えます。しかし、論理的な思考に基づけば、答えは「いえる」です。命題「pならばq」が真である時、その対偶「qでないならばpでない」は必ず真となります。「ハナコが風邪をひいているとき、ヒナコは風邪をひいていない。」と、「ヒナコが風邪をひいているとき、ハナコは風邪をひいていない。」は対偶の関係にあります。「ハナコが風邪をひいているとき、ヒナコは風邪をひいていません。」と断言している以上、この命題は真であり、その対偶も真となります。

こう説明しても、「なるほど」と納得する人は1割程度です。論理的に説明すれば人が納得するとは限りません。上の問いでは、「ハナコが風邪をひいているとき、ヒナコは風邪をひいていません。」という状況設定が常識的にあり得ないと感じるため、その説明がいかに論理的に正しくても、多くの人々にとっては受け入れがたいものに映ります。人は、自らが常識だと信じることに基づいて物事を理解します。いくら論理的に説明しても、「常識」を異にする人

の心を動かすのが難しいことは、私たちが原発事故以来感じていることでもあります。

自らが信じる「常識」の枠に沿って世界を見るのは人間の特質です。人工知能は常識を持たないので、人がするような「常識的」な判断はできません。論理よりも常識を優先することは「人間らしい」と言えるでしょう。その人間らしさを「人間性」と呼ぶならば、それは人間性の一部です。

ところで、奥羽大学の理念は人間性豊かな人材の育成ですが、これが論理よりも常識を優先する人材を育てるという意味でないことは明らかです。なぜなら医療は科学であり、歯科医師や薬剤師は論理的な判断に拠って行動することが求められるからです。ここまで述べてきた文脈における人間性豊かな人材とは、患者をはじめとする弱者の人間性を理解し、それに共感できる人でしょう。人は病気によって弱い立場に置かれると論理的な判断ができなくなります。医療者は弱者の非論理的な思考に共感しつつ、彼らの抱いている「常識」と科学的判断とにどのように折り合いをつけるか考え続けねばなりません。学生には、授業を通じて論理的な思考様式を獲得すると同時に、人間は本質的に非論理的であるということも十分に理解してほしいと思っています。

## 2020年度 奥羽大学 歯学部・薬学部 編入学試験概要

## ■編入学募集人員

| 学部・学科   | 編入学年  | 募集人員 |
|---------|-------|------|
| 歯学部 歯学科 | 2年次   | 若干名  |
|         | 3・4年次 |      |
| 薬学部 薬学科 | 2年次   |      |
|         | 4年次   |      |

## ■出願資格

| 学部・学科              | 編入学年  | 出願資格   |
|--------------------|-------|--|
| 歯学部 歯学科<br>薬学部 薬学科 | 2年次   | (1) 大学を卒業又は2020年3月卒業見込みの者<br>(2) 短期大学を卒業又は2020年3月卒業見込みの者<br>(3) 高等専門学校を卒業又は2020年3月卒業見込みの者<br>(4) 医療系専修学校専門課程を修了した者又は2020年3月修了見込みの者<br>(5) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者<br>(6) 歯学部又は薬学部並びに医学部に1年以上在学し、第1学年の所定の単位を修得した者 |
| 歯学部 歯学科            | 3・4年次 | (1) 歯科大学又は薬学部にて3年以上在学し、当該学年所定の単位を修得した者<br>※ 出願受付時に、前大学の履修科目単位を審査のうえ3年次・4年次編入学試験区分を指定する   |
| 薬学部 薬学科            | 4年次   | (1) 4年制薬科大学又は薬学部を卒業した者並びに2020年3月卒業見込みの者<br>(2) 6年制もしくは4年制薬科大学又は薬学部にて3年以上在学し、当該学年所定の単位を修得した者  |

## ■試験日程

| 入試区分               | 編入学年  | 日程・試験科目                  |                           |                              |
|--------------------|-------|--------------------------|---------------------------|------------------------------|
|                    |       | 出願期間                     | 試験日                       | 合格者発表                        |
| 歯学部 歯学科<br>薬学部 薬学科 | 2年次   | 2019.9.2(月)～2020.3.19(木) | 随 時                       | 試験後3日以内                      |
| 歯学部 歯学科            | 3・4年次 | 一期                       | 2020.2.3(月)～2020.2.20(木)  | 2020.2.25(火)<br>2020.3.25(木) |
|                    |       | 二期                       | 2020.2.28(金)～2020.3.19(木) | 2020.3.23(月)                 |
| 薬学部 薬学科            | 4年次   | 2019.9.2(月)～2020.3.19(木) | 随 時                       | 試験後3日以内                      |

## ■選考 ※出願書類、試験及び面接試験の結果を総合して判定する

| 入試区分               | 編入学年  | 科目   | 内容                                      |
|--------------------|-------|------|---|
| 歯学部 歯学科<br>薬学部 薬学科 | 2年次   | 小論文  | 120分、1,200字                             |
|                    |       | 面 接  | 個人面接                                    |
| 歯学部 歯学科            | 3・4年次 | 学力検査 | 多肢選択問題100問<br>本学歯学部カリキュラムに基づく履修科目から出題する |
|                    |       | 面 接  | 個人面接                                    |
| 薬学部 薬学科            | 4年次   | 小論文  | 120分、1,200字                             |
|                    |       | 面 接  | 個人面接                                    |

奥羽大学 〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1

http://www.ohu-u.ac.jp E-mail info@ohu-u.ac.jp

歯学部学事部入試係 TEL024-932-9005・9055(直通) FAX024-933-7372

薬学部学事部入試係 TEL024-932-8995・9006(直通) FAX024-933-7372

## 附属病院

### 研修歯科医派遣式

6月28日(金)、地域医療短期研修プログラム前半組4名と地域医療長期研修プログラムを選択した3名の本年度第1回研修歯科医派遣式が臨床講義室で行われた。派遣先は福島県4名、秋田県2名、山梨県1名。研修歯科医はそれぞれ4ヶ月と8ヶ月の研修を行うことになる。式では派遣研修歯科医が呼名され、杉田病院長からの訓示、プログラムの特徴と修了認定、研修心得の伝達後、それぞれの研修歯科医から力強く決意表明があり、列席者からの激励の拍手に見送られた。



### 休日・夜間時の自衛消防訓練

9月4日(水)附属病院において、宿直および日直担当歯科医師、看護師、事務職員など29名が参加し、休日・夜間時の自衛消防訓練が行われた。地震および火災発生時の通報連絡の手順、4人および6人体制による担架搬送訓練を実施した。休日・夜間時は少人数で事態収集を図り、避難誘導を行う必要があることから、各自責任を持ち行動するよう再確認した。



### 指導歯科医資質向上講習会および第2回研修管理委員会

9月28日(土)、本年度指導歯科医資質向上講習会および第2回臨床研修管理委員会が本学附属病院5階臨床講義室で開催された。講習会ではモデル・コア・カリキュラムを基に日本歯科大学新潟病院の水谷太尊先生ほか、本学2名の教員が講演を行い、参加者から活発な質問があった。研修管理委員会では清野晃孝研修管理副委員長より本年度臨床研修の進捗状況、来年度のマッチング等の説明があり、盛会裡に幕を閉じた。



## 臨床教育力養成研修会

本年度の歯学部臨床教育力養成ワークショップは8月31日(土)、若手教員9名の参加により行われた。平成23年度から9回目の開催。5名と4名の2班での構成により、昨年と同様に午前のみの内容とした。スーパーバイザーとして東京歯科大学から杉戸博記准教授を招き、ディレクターの山森徹雄教授のほかチーフタスクフォースの清野晃孝准教授が主導した。臨床実習における基本的臨床技能の中で保存系と予防・指導系を選択し、カリキュラムプランニングにおいて、学習目標をグループワークにてプロダクトを作成、発表するなど若手教員に有意義な研修であった。



## 中央滅菌処理室の運用開始

歯学部附属病院では、歯科外来で使用する診療器材等の滅菌処理業務を、9月から総合歯科サプライ室を中央滅菌処理室とし、専門業者に委託して運用を開始した。昨年4月から看護師・歯科衛生士の各責任者、事務担当者及び専門業者との綿密な打合せを繰り返し行い、業務内容の確認・調整を進めて来た。

今後においても、院内感染予防・医療安全管理の体制充実、洗浄・滅菌消毒処理業務の一元化及びサプライシステムについて、さらなる質的向上と効率化を図りたい。



## キャンパスの風景

## ニヨキニヨキ

今回はニヨキニヨキを紹介しよう。エ? なんのこ?ニヨキニヨキと頭をもたげて地上のこの世の中に出てきたキノコの物語です(物語とは大きさですね)。

ちょっとメルヘンチックな2つの写真。場所はどこだか分りますか。

左のキノコ。撮影は10月4日。正門を入れてすぐ右手の竹やぶの手前です。ここから滝のある池に続く芝生にも小さなキノコが無数に顔を出しています。右のキノコ。なんと薬学部棟の玄関前です。薬のお役にたきたいなんて言うてはいませんが、秋の風物詩です。撮影は10月21日。桜の葉も赤く色付き、授業が終わって家路に向うころには肌寒さを感じます。後期の授業もますます熱を帯びてくるころです。(A)



正門を入れて右手の竹藪前



薬学部棟前

## 歯学部研究紹介

## 高齢者喉頭蓋の加齢変化における組織学的観察

生体構造学講座 講師 芹川 雅光

食べるためには「摂食嚥下」という機能が必要不可欠です。摂食嚥下は食物を認識して口に取り入れてから胃に送り込むまでの一連の過程をさします。

その摂食嚥下において重要な役割を果たしている構造物の一つに喉頭蓋があります。喉頭蓋は葉状の軟骨を主体とした構造物で、図1のように喉頭の上部にあり喉頭の前壁から上方に突き出す平たい弁をなしています。甲状軟骨とは甲状喉頭蓋靭帯(図2)、舌骨とは舌骨喉頭蓋靭帯(図3)によって結合していて、喉頭蓋の上縁は舌根部のすぐ後方に位置しています。摂食嚥下時には、舌骨上・下筋群の働きにより喉頭が挙上し、それにより喉頭蓋が倒れ込むことで喉頭が閉鎖されます。また、気道を押し上げる力で舌の根元に圧力がかかり、喉頭蓋が倒れて気道が塞がります。

このように、喉頭蓋は摂食嚥下における一連の流れの中で倒れ込み気道を塞ぐことで食物による誤嚥を防ぐという重要な役割の一旦を担っています。一方、加齢変化に伴う様々な要因による嚥下機能の低下はよく知られていて、嚥下中における喉頭蓋の運動も加齢による影響を受けることが示唆されます。その結果、高齢者においては喉頭蓋の倒れ込みの機能が弱まることで誤嚥を起こしてしまいます。

我が国の死亡原因は近年では急速な高齢化に伴い(誤嚥性)肺炎が主要な死因の一つとなっています。嚥下機能における一連の運動は、喉頭とその周囲に存在する器官が協調して行われます。高齢者では加齢変化により嚥下に関係する器官の諸機能が低下することで、正常な嚥下運動が障害され誤嚥を起こしてしまいます。従って、高齢者における摂食嚥下機能の評価や改善、誤嚥の予防などは、今後ますます重要になると考えられます。

これまでも喉頭における加齢変化については声帯を中心に多くの研究や報告がなされていますが、嚥下機能低下を絡めた喉頭蓋と周囲構造物における組織学的観点からの報告は多くありません。そこで、高齢者の喉頭蓋と周囲構造物における組織学的観点からの、喉頭蓋に関係する線維や血管の走行、分布などの形態的特徴を明らかにすることを目的として現在研究を行っています。

喉頭蓋には成熟した弾性線維とは独立して上皮の基底膜を裏打ちする微小線維の束が存在していて、それらはオキシタラン線維(以下Ox)と名付けられています。これらの線維は腱、靭帯、血管の外膜など機械的ストレスを受ける組織に含まれていて、血管系の維持や血流量の調節、靭帯の機械的特性への寄与などに関与していることが示唆されています。ヒトやラットの組織において、加齢変化によりOxの量が減少することが報告されています。喉頭蓋も周囲の軟骨などと靭帯で結合しており、摂食嚥下において気管への食塊の侵入を防ぐという運動で機械的ストレスに晒される器官の一つと考えられます。そこで、高齢者喉頭蓋に含まれると考えられるOxの走行や分布などの形態的特徴についての検索を行っています。

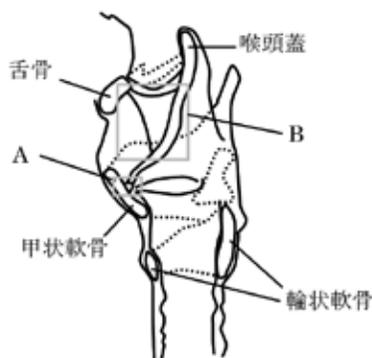


図1.喉頭蓋を含む喉頭の模式図(矢状断)



図2. 図1Aの拡大図



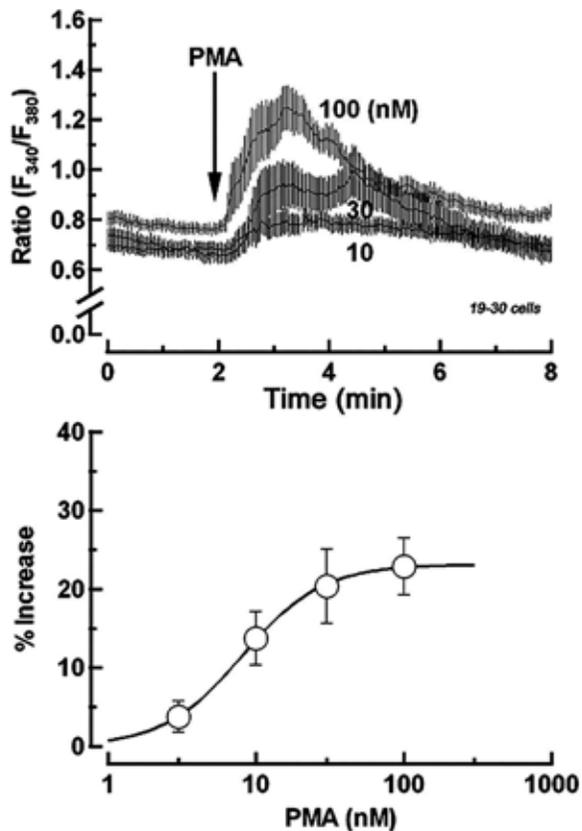
図3. 図1Bの拡大図

## 薬学部研究紹介

## 非選択的カチオンチャネルの分子薬理的解析

医療薬学分野 教授 佐藤 栄作

細胞内Ca<sup>2+</sup>濃度の増加は、筋収縮、分泌、免疫応答、増殖や細胞運動など多岐にわたる細胞機能に重要な役割を果たしています。血管内皮細胞などの非興奮性細胞における主要なCa<sup>2+</sup>流入経路はストア作動性のCa<sup>2+</sup>チャネル(SOC)であり、生理活性物質の合成分泌、血管トーンスの調節や血管リモデリングに関与していることから、そのチャネル機能を理解することにより循環器系疾患の病態生理の解明や新規治療薬の開発が期待されます。私は、血管内皮細胞のCa<sup>2+</sup>流入経路の分子本体を明らかにすることを目的として、非選択性カチオンチャネルであるTRP(Transient receptor potential)チャネルの分子レベルでのチャネルの制御機構について評価してきました。このうちTRPV4チャネルは、細胞外液浸透圧の減少、ホルボールエステル、アラキドン酸代謝産物や流れ刺激によっても活性化されることが示され、血管内皮依存性の血管拡張作用に関与していると考えられています。TRPV4チャネルは、ホモ多量体として機能するだけでなく、他のTRPチャネルとヘテロ多量体を形成してSOCとして機能することが示されており、また遺伝子欠損マウスや病態モデル動物での実験から、心不全における肺うっ血、虚血性心筋障害などの病態生理に関わっていることも報告されています。今後は、糖尿病ラットにおける腎障害や心筋障害の発症・進展に関与するTRPチャネルについて、遺伝子発現量の変化や特異的な薬物による薬理的な評価を行い、生理機能について検討していきたいと考えています。

TRPV4安定発現細胞におけるホルボールエステル(PMA)の細胞内Ca<sup>2+</sup>増加作用

## 自著を語る

『口腔病理アトラス』第2版文光堂(2018年3月刊)伊東博司ほか著

『新口腔病理学』第2版医歯薬出版(2018年4月刊)伊東博司ほか著

私が分担執筆したのは『口腔病理アトラス』の第9章嚢胞の一部と、『新口腔病理学』の第17章顎・顎関節の非腫瘍性病変の全部です。どちらも、私の前任者である福岡章先生が作製なされた文章と写真を改訂させて頂きました。この改訂では本学口腔外科、歯科放射線科、会津中央病院歯科口腔外科そして広島大学歯学部から病理標本や写真の提供を受け、類書にはない内容を記述することができました。二つ例を挙げますと、『口腔病理アトラス』ではブドウ状歯原性嚢胞の組織像を、新『口腔病理学』ではビスホスホネート関連顎骨壊死のパノラマX線像をそれぞれ掲載してそれら病変の解説を充実しました。今回紹介する2冊の口腔病理学書はいずれも最新の知見が記述されていますので、歯学部学生のみならず、現在歯科臨床に携わっている方々にもそれぞれ2冊に目を通して頂き、口腔病理学の知識を更新なさることを希望します。

(歯学部口腔病態解析制御講座 教授 伊東博司)



## 「ようこそ郡山へ!」コーナー設置

本学図書館では、引き続き「ようこそ郡山へ!」と題したコーナーを設置している。県外から入学した1年生を対象としたものであるが、市の歴史や情報を幅広く扱っているため、在校生などにも郡山市について再認識できる内容となっている。

歯学部第1学年後期の講義「郡山学/福島学」の参考書も多数そろい、充実したコーナーになっている。来館の際には、ぜひご覧いただきたい。



---

## 同窓生だより

---

古田 裕二(宮城県支部 歯学部11期生)

皆様こんにちは、歯学部宮城県支部支部長の古田です。宮城県支部について紹介させていただきます。現在の会員数は1期生から42期生までの192名で、その内、開業会員が115名、勤務会員が72名となっています。勤務会員には一般歯科に勤務されている先生の他に、東北大学歯学部の大学院や医局員、研修医の先生が含まれています。最近では会員のご子弟の先生が卒業または他県で研修されて宮城に戻って来られる方も多く見られるようになってきています。

支部の事業としては総会、忘年会時の年2回の学術講演会、夏の納涼会、ゴルフコンペ、冬のレクリエーションなどを行っており、学術講演は、年に一度は母校から講師の先生をお招きして、学術的な話をお聴きするのはもちろんですが、大学の近況なども伺うことができる良い機会にもなっています。夏の納涼会はファミリー参加イベントとなっており、バーベキューなどを企画して、会員のご家族にも参加いただき、お子さん方とゲームをしたり、おもちゃのプレゼントがあったりと、可愛い子供たちと触れ合うことができる私の年一回の楽しみにもなっています！冬のレクリエーションは、以前は温泉旅行を兼ねたスキースノボ教室を開催していましたが、スキーをする方が少なくなってしまう、最近では温泉旅行だけとなってしまっているのが少し寂しいところです。今後は1期生から42期生まで多くの会員の先生方に参加していただける新しい企画を考えたいと思っています。

今年、宮城県支部は創立40周年を迎えることになり、11月には11期生の神奈川歯科大学学長櫻井孝先生を講師にお迎えして、記念講演と祝賀会を開催する予定です。これから50周年、60周年と続けて行くことができるように、当会の会則にもある「本会は、会員相互の親睦並びに福祉の増進を図るとともに、母校の発展に寄与することをもって目的とする」という理念のもと、より良い同窓会を作っていくしたいと思います。今後とも皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

---

## 同窓生のひろば

---

星 晴夫(歯学部22期生)

22期卒業の星晴夫です。大学卒業後埼玉、東京と勤務医をして28歳で子供の頃から過ごした横浜で開業しました。数年前から神奈川支部の厚生担当をさせて頂いております。いろいろな先生方と厚生事業によりお話させていただく機会が多く、どのようにしたら同窓会が栄えていくか、継続できるかなどお知恵をいただいておりますが、世代間での考え方の違いに悩まされることが多々あるのが現状です。縦のつながりそして横のつながりをもっと大切にしていけることが重要なことをみんなに気がついてほしいと思っています。同じ仕事をする中で最後に手を差し伸べてくれるのはやはり同窓生ではないでしょうか？

いろいろなことがあり歯科医師会の大切さも教えていただきました。入会后少しして地区で地域保健の担当理事になりました。そこでの仕事は歯と口の健康週間事業でいかに区民サービスを行えるかという問題に直面しました。1つの行事に区民20人弱の参加で本当にいいのか？どのようにしたら認知してもらえるのか、行政と会の調和を取りながら改革をしなければいけない。区民に歯科医師会を知ってもらわなければいけないなど本来ある姿へ進めています。他の地区で良いものは吸収させていただきそれをアレンジする、そしてオリジナルにしていくことが大切と思い急速に改革を進めています。行政とはお互いにもちつもたれつの関係ですのでお願いできることはきっちりお願いすることも覚えしました。

このようなことが進められるのは歯科以外の仕事を多くしてきたことにあると思っています。どのような仕事でもお客様がいて収入を得ている、このことはいつも同じと思えば応用範囲を広げている状況です。そこでの経験を今後共活かしていきたいと思っています。



藤澤 裕静(薬学部6期生)

この度、東日本を襲った台風の影響で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

振り返れば、東日本大震災が発生したとき、私は郡山市のアパートにいました。大学1年生の

年度末の頃でした。あの日から8年経ち、現在は出身の秋田県で病院薬剤師をしております。

大学5年生の実務実習でお世話になった病院に就き、4年目となりました。現在は血液内科の患者が主に入院している病棟を担当し、血液がんや免疫異常の患者と日々向き合っております。抗がん剤の副作用軽減のため、医師から他剤との相互作用の質問を受けることが多く、大学で学んだ力が活かしています。また、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の一員として、抗菌薬治療のサポートに日々努めています。医師から適切な抗菌薬を十分な用量で処方されていても、配合変化や薬物相互作用により抗菌力を最大限発揮できていない場合があります。点滴ルートや服用時点のプロブレムは、実際に投薬する看護師では気づけないことが圧倒的に多く薬剤師の視点が重要です。先日、院内向けの研修会で抗菌薬について講演する機会があり、その感想でも配合変化に対する看護師の関心は非常に強いものでした。医師からの問い合わせ件数も増え、学ぶことも多くやりがいを感じています。

血液内科の医師より誘っていただき、今年の夏はがんサバイバーの皆様と共に秋田駒ヶ岳登山に参加させていただきました。高校のとき登山部だったことから、山頂付近の休憩小屋で作る豚汁(70~80人分)の荷揚げ要員というミッションも与えられましたが、上で食べた豚汁と参加された方々との交流、そして昼から晴れて見られた景色は、どれも最高で貴重な経験をさせていただきました。医師やコメディカルの方々と結集した病院登山部で、この秋も

紅葉狩りに行こうと計画中です。

薬剤師になって人との新たなつながりができ、また医療への興味もさらに増しました。私の薬剤師の土台を作ってくださった、大学での学びに感謝しています。

最後に、母校奥羽大学のさらなる発展と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

## 人 事

### <退職>

|        |        |                  |         |
|--------|--------|------------------|---------|
| 小林 康修  | 歯科技工士長 | 病院医療部            | 6月30日付  |
| 入澤 正晃  | 助 教    | 附属病院             | 9月30日付  |
| 岩崎 裕子  | 助 手    | 歯 学 部<br>(口腔外科学) | 〃       |
| 大森 陽香里 | 歯科衛生士  | 病院医療部            | 10月31日付 |

### <再任用>

|       |     |                  |        |
|-------|-----|------------------|--------|
| 伊東 博司 | 教 授 | 歯 学 部<br>(口腔病理学) | 8月11日付 |
|-------|-----|------------------|--------|

奥羽大学報163号(通算No.288)令和元年10月31日発行  
 発 行 奥 羽 大 学  
 学 報 編 集 委 員 会  
 委 員 長 清 野 和 夫

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
 電話 024(932)8931(代) FAX 024(933)7372  
 ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>  
 メールアドレス [info@ohu-u.ac.jp](mailto:info@ohu-u.ac.jp)

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。

2020年度 入試日程

2020年度 入試日程・試験会場  
(推薦入学試験・特待生選抜入学試験・一般選抜入学試験)

| 歯学部     |    |     |                         |                |                |                |
|---------|----|-----|-------------------------|----------------|----------------|----------------|
|         |    | 人数  | 出願期間                    | 試験日            | 合格発表日          | 会場             |
| 推薦入試    | 一期 | 10名 | 2019年10月28日(月)～11月7日(木) | 2019年11月10日(日) | 2019年11月13日(水) | 郡山(奥羽大学)       |
| 特待生選抜入試 | 一期 | 25名 | 2020年1月7日(火)～1月21日(火)   | 2020年1月24日(金)  | 2020年1月29日(水)  | 郡山(奥羽大学)       |
|         | 二期 | 5名  | 2月25日(火)～3月12日(木)       | 3月16日(月)       | 3月19日(木)       | 郡山(奥羽大学)       |
| 一般選抜入試  | 一期 | 30名 | 1月7日(火)～1月21日(火)        | 1月24日(金)       | 1月29日(水)       | 郡山(奥羽大学)・東京・大阪 |
|         | 二期 | 10名 | 2月3日(月)～2月18日(火)        | 2月21日(金)       | 2月26日(水)       | 郡山(奥羽大学)・東京・大阪 |
|         | 三期 | 6名  | 2月25日(火)～3月12日(木)       | 3月16日(月)       | 3月19日(木)       | 郡山(奥羽大学)・東京・大阪 |

| 薬学部     |    |     |                         |                |                |                |
|---------|----|-----|-------------------------|----------------|----------------|----------------|
|         |    | 人数  | 出願期間                    | 試験日            | 合格発表日          | 会場             |
| 推薦入試    | 一期 | 30名 | 2019年10月28日(月)～11月7日(木) | 2019年11月10日(日) | 2019年11月13日(水) | 郡山(奥羽大学)       |
| 特待生選抜入試 | 一期 | 25名 | 2020年1月7日(火)～1月22日(水)   | 2020年1月25日(土)  | 2020年1月29日(水)  | 郡山(奥羽大学)       |
|         | 二期 | 5名  | 2月25日(火)～3月12日(木)       | 3月16日(月)       | 3月18日(水)       | 郡山(奥羽大学)       |
| 一般選抜入試  | 一期 | 45名 | 1月7日(火)～1月22日(水)        | 1月26日(日)       | 1月29日(水)       | 郡山(奥羽大学)・仙台・大阪 |
|         | 二期 | 20名 | 1月29日(水)～2月10日(月)       | 2月14日(金)       | 2月18日(火)       | 郡山(奥羽大学)・仙台・大阪 |
|         | 三期 | 5名  | 2月25日(火)～3月12日(木)       | 3月16日(月)       | 3月18日(水)       | 郡山(奥羽大学)       |

2020年度 歯学部・薬学部 編入学試験概要

| 出願資格    |       |   |
|---------|-------|---|
|         | 編入学年  | 出願資格  |
| 歯学部・薬学部 | 2年次   | ① 大学を卒業又は2020年3月卒業見込みの者<br>② 短期大学を卒業又は2020年3月卒業見込みの者<br>③ 高等専門学校を卒業又は2020年3月卒業見込みの者<br>④ 医療系専修学校専門課程を修了した者又は2020年3月修了見込みの者<br>⑤ 大学に2年以上在学し62単位以上を修得した者<br>⑥ 歯学部又は薬学部並びに医学部に1年以上在学し、第1学年の所定の単位を修得した者 |
| 歯学部     | 3・4年次 | ① 歯科大学又は歯学部3年以上在学し、当該学年所定の単位を修得した者  |
| 薬学部     | 4年次   | ① 4年制薬科大学又は薬学部を卒業した者並びに2020年3月卒業見込みの者<br>② 6年制若しくは4年制薬科大学又は薬学部3年以上在学し、当該学年所定の単位を修得した者   |

| 試験日程       |              |      |                       |  |                         |
|------------|--------------|------|-----------------------|--|-------------------------|
|            | 編入学年         | 募集人数 | 出願期間                  | 試験日  | 合格発表日                   |
| 歯学部<br>薬学部 | 2年次<br>2・4年次 | 若干名  | 2019年9月2日(月)～3月19日(木) | 随時   | 試験後3日以内                 |
| 歯学部        | 3・4年次        |      | 一期<br>二期              | 2020年2月3日(月)～2月20日(木)<br>2月28日(金)～3月19日(木) | 2020年2/25(火)<br>3/23(月) |



**奥羽大学へのアクセス**

- 福島交通バス JR郡山駅より約10分
- JR磐越西線 郡山富田駅 西口より徒歩3分(平成29年春新設)
- お車でお越しの方
  - 郡山ICより約15分
  - 郡山東ICより約15分
- 新幹線利用
  - 盛岡ー83分(仙台駅乗換え時間を含む)
  - 山形ー81分
  - 仙台ー35分
  - 宇都宮ー27分
  - 大宮ー51分
  - 東京ー77分
- 飛行機利用
  - 札幌ー80分
  - 大阪ー65分



**奥羽大学**  
歯学部 | 薬学部

奥羽大学 東北歯科専門学校  
歯科衛生士科 歯科技工士科

奥羽大学 検索 [www.ohu-u.ac.jp](http://www.ohu-u.ac.jp)

TEL 024-932-9055

(お問い合わせ先 企画・広報課) 〒963-8611 福島県郡山市富田町三角堂31番1 FAX:024-933-7372 E-mail:info@ohu-u.ac.jp